活動レポート　技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会　幹事　**藤平雅之**

みんなで語ろう
第 1 回ミライカフェ

1. はじめに

技術者のミライ研究委員会（ミライ研）では、技術者が意見交換を行い、考え方の共有や意識啓発を図る場を設けることを目的として、「ミライカフェ」を継続的に開催することとしました。今回はそのスタートとなる第 1 回目を開催しました。以下にその開催概要について報告します。

2. 開催内容の概要

日　　時：令和 2 年 2 月 10 日（月）18：30 ～ 20：30
開催場所：街中スペース　COVO
参 加 者：小澤、木本、千葉、永井、平岡、西村、仁田、三吉、寺西、堂領、藤平（以上ミライ研 11 名）、赤根、大田、岡本（以上青年技術士交流委員会（青技交）3 名）、その他（会員・一般）4 名の合計 18 名
開催目的：ミライの技術士（技術者）がいきいきと働ける環境づくりに向けて、継続的に話し合う場を設け、考え方の共有や意識啓発を図るとともに、そこで得た知見や考え方などを成果としてとりまとめ、広く普及を図る。
実施内容：①トークテーマについて話題提供
②トークテーマを基にグループトーク
・8 月のワークショップ（後述）後の意識や行動の変化
・働き方改革は必要か
・未来の技術士（者）に必要なこと
（次回以降のテーマの洗い出し）
③グループトークの結果発表（情報共有、意見交換）

なお、今回は「カフェ」のようにリラックスして話せるような場を目指しています。このため、「グループ討論」ではなく「グループトーク」としています。

3. テーマについて話題提供

開会の挨拶に引き続いて、トークテーマの話題提供として 2 つの発表を行いました。

話題提供その 1 として、平岡技術士が令和元年 8 月に実施した青技交主催講演会・ワークショップ（WS）「働き方改革・徹底討論」についての概要、それらを通して自分の周りでどのように取り組んだかについて発表しました（講演会・WS の詳細については既刊第 150 号、青技交の活動レポートを御覧ください）。ワークショップに参加していなかった筆者でも理解しやすい内容であり、熱く語っていたのが印象的でした。

写真-1　熱く語る平岡技術士

引き続いて、永井技術士より話題提供その 2 として、「働き方改革は必要？」というテーマで、自身の働き方改革の必要性について発表しました。大事にしたい家庭・家族があり、やりたい仕事もある。こ

れらを両立させるためには、どのようなことが必要か、どのようにしたのか、などを自身のこれまでの実体験を基に判りやすくまとめてありました。

写真-2　自身の体験等について語る永井技術士

4. グループトーク

グループトークは 3 グループに別れて実施しました。各グループにはベテランや若手など、様々な世代がまんべんなく振り分けるようバランスを考慮して配置されてました。

グループごとにファシリテーターの進行のもと、前述のテーマに沿って様々な意見を出し合い、その意見を取りまとめていきました。筆者の参加したグループでは、一般的に世間でも言われている世代間の意識差やコミュニケーションの必要性などが、身近な具体例として改めて感じられるような内容となりました。

写真-3　グループトークの様子

5. グループトークの結果発表

最後に、グループトークで取りまとめた意見について各グループより代表が発表し、情報の共有を行いました。各グループからは、働き方改革についての講演・WS に参加して実際にどう変わって、どう変えられていないか、会社や部署などでどのような問題が見えてきたか、それについてどうしたら良いか、実際に働き方改革の必要性についてはどう感じるか、今後どうすべきかなど、様々な意見が上がっていました。さらにその発表を基に意見交換を行いました。これらにより、様々な分野や世代の差を超えた考え方を知る良い機会となりました。

各グループからの発表後、各グループ内での MVP（参考となる意見や有用な事案を提案した人）を表彰し、閉会の挨拶をもって終了しました。

写真-4　MVP 表彰を受ける岡本技術士

6. おわりに

技術者のミライ研究委員会では、今後もミライカフェや様々な活動を通じて、技術者同士の交流、考え方の共有や意識啓発を図っていきます。また、複数回実施し、そこで得た知見や考え方などを成果としてとりまとめ、広く普及を図る予定です。

現在、これらの活動やイベントが行いにくい状況ですが、今後も随時実施していきますので、皆さんも是非ミライカフェに参加してみませんか。

最後に、今回の企画実現にご尽力いただいたミライ研、青技交の皆様、一般参加の皆様に感謝申し上げます。